

自分の地域で子育て支援に関わってみたい方のための情報マガジン「ラ・シ・ク」

RASHIKU

つなげる、つながる、自分らしく笑顔で生きる。

できることがきっと見つかる
「あっとほーむカレッジ」

認定NPO法人あっとほーむ代表理事 小栗ショウコ

「はじまりは、ささやかな想いから」

おうち保育園[®]協会による起業サポート活用

- コンサルティング・個別相談
- 協会会員同士の交流・情報交換、勉強会
- 広告宣伝支援

カレッジ卒業生インタビュー

福島県いわき市「正月町おうち保育園[®]」

大阪府高槻市「NPO法人アフタースクールにじのいえ」



もう少し、あと少し気持ちにゆとりを持って過ごしたい



忙しい毎日に、“もうひとつのおうちがくれたもの”
ゆったりと過ごす親子の時間



あっとはーむの夜間保育を利用。

子どものお迎え、夕食、お風呂まで済ませてくれるので、

家に帰ってから子どもたちとふれあう時間をたっぷりとれるようになりました。

朝起きて子どもに朝食、家の掃除、洗濯、それから出勤。日中は気を張り詰めて仕事をがんばる。退社したら保育園へ駆け込んで、家に帰ったら急いでご飯を作って食べさせて、お風呂も入れて…。子どもが天使の寝顔になる頃にはもうぐったり。本当は、毎日子どもに絵本を読んであげるくらいの心の余裕が欲しいのに。もしも頼れる親やきょうだい近くいたら、時々保育園にお迎えに行ってもらって、ご飯もお風呂も済ませて、パパママが帰ってくるまで子どもを楽しく過ごさせてくれるかもしれない。そうしたら、自分も気持ちに余裕が出来て、毎日子どもと絵本を読む時間だって作れるかもしれない――。

でも、みんながみんな頼れる人が近くにいるわけじゃありません。「だったら私が

やろう！ きっとみんな助かるはず！」そう思って始めたのが、お迎え付き夜間保育 あっとほーむです。

そんなあっとほーむの活動がTVや新聞、雑誌に載るたびに、「私の地域にもあっとほーむが欲しい」「私もあっとほーむのようなところをやりたい」という声を頂くようになりました。どうすればその声に応えられるのだろうか？ あっとほーむの二店舗目三店舗目を作るのはしっくりこないし、フランチャイズで全国展開するのも違うなどと考えて行き着いたのが、起業支援という形の〈あっとほーむカレッジ〉です。私たちが長年事業を続けてきたスキルやノウハウをまるごと伝え、事業計画や収支なども全て見せるから、あなたはあなたの地域に合うあなたらしい事業を立ち上げて

ほしい。そんな想いから作られました。

最初から経営スキルのある人なんか、ほとんどいません。みんな、「地域の親子を支援したい！」「働く女性を支援したい！」という想いはあっても、それをどう実現していくのかわからないのです。〈あっとほーむカレッジ〉を卒業して「いつかやりたい」と思っていたことを実現した皆さんも最初はそうでした。それでも夢を実現できたのは、〈あっとほーむカレッジ〉で学ぼうと、一歩踏み出したからです。

子どもが笑顔に、それを見てパパママが笑顔に、更にそれを見て支援する人も笑顔になる、そんな笑顔の輪を広げることを私たちは目指しています。

さあ、始めましょう！ あなたらしい事業を〈あっとほーむカレッジ〉から！

はじまりは、ささやかな想いから

今年、開業20周年を迎える認定NPO法人あっとほーむ。

ここまで来ることができたのは、あの時、自分の想いを大切にはじめの一歩を踏み出したから。

だからこそ、同じような想いを持つ人の「はじめの一歩」を応援したい。

〈あっとほーむカレッジ〉誕生までと、あなたの「やりたい」を応援する代表小栗ショウコからのメッセージ。



小栗ショウコ (おぐりしょうこ)

静岡県出身。中京短期大学にて保育士、幼稚園教諭の免許取得。短大卒業後、男女雇用機会均等法一期生として一般企業に就職。約10年勤務後退職。「あのまま働き続けていたら、どんな支援が必要だったか」「同じように支援を必要としている人がいるはず」と、1998年10月、残業やシフト勤務時に保育園や小学校へのお迎え付き夜間保育を開始。2002年NPO法人化。神奈川県指定NPOを経て2013年認定NPO法人資格取得。



上: お迎え付き夜間保育施設にじのことり、下中央から時計回りに: KADOYA おうち保育園[®]、OHANA、NPO法人アフタースクールにじのいえ、特定非営利活動法人もりのこえん、正月町おうち保育園[®]

お迎え付き夜間保育・学童保育施設、一時保育施設、企業主導型保育施設といった保育施設の開業だけでなく、親子サロン、ママのためのスクール、多世代と交流できる居場所づくりやイベント開催、親子での自然体験、習い事教室など幅広い子育て支援を行っていることが特徴で、開業後NPO法人を取得した方々もいます。



〈あっとほーむカレッジ〉卒業生の開業事例と講座内容のご紹介

「何かやりたい」そんな漠然とした想いがあるなら、あっとほーむカレッジに来てみませんか？
やりたいことが決まっている人も、できることが分からない人も、
自分に合った方法で、あなたの「やりたい」が「できる！」に変わります。

〈あっとほーむカレッジ〉は、認定NPO法人あっとほーむの子育て支援者育成事業として、「自分の地域にもあっとほーむのようなところがほしい」という働く女性の声と、「自分もあっとほーむのようなところを立ち上げたい」という起業希望者からの声に応え始めました。起業経験

の有る無しに関わらず、地域の親子のために自分にできることをしたい！という想いを持つ方々に、あっとほーむが長年培ってきたスキルやノウハウを余すところなく伝え、子育て支援に特化した起業支援を行います。〈あっとほーむカレッジ〉では、受講生それぞれの才能や能力、過

去の実績、経験を活かした事業内容を設定し、開業予定地となる地域の特徴やニーズを捉えながら、目標設定を行い、事業計画を策定していきます。



基礎クラス

受講者が自分では気づいていない才能・能力を引き出し、「いつか何かやりたい」といった漠然とした想いや「自分が本当にやりたかったことは何か」を明確にしていくことで、ブレない事業の軸をつくっていきます。事業を行っていくうえでとても重要になる、受講者の想いに共感する協力者や支援者を獲得できるようプレゼンテーションの基礎スキルを学び、自分の想いを「伝える」技術を習得していきます。

期間は約3ヶ月間。4時間×3日間実施。事業対象者の明確化～保育事業者としてのコミュニケーションスキル習得までの幅広い内容。



応用クラス

社会性と事業性を兼ね備えた事業にしていけるため、起業の実践的な内容を各分野のプロの講師陣から学びます。多くの方が苦手とする事業計画や予算策定は、あっとほーむの実際の帳票類を参考に進めていくため、初めての方でも安心して策定できます。また、信頼される事業者となるための基礎を学び、受講中から実践していきます。ビデオ受講にも対応しています。（※2018年8月現在）

期間は約4ヶ月間。4時間×3日、6時間×1日の全4日間実施。基礎クラスを修了した方が対象。具体的な事業計画を策定。



卒業式

〈あっとほーむカレッジ〉の集大成として、ご家族や協力者の前で事業計画のプレゼンテーションを行います。半年以上かけ、基礎・応用クラスで学び、自分自身と向き合い、試行錯誤しながら完成させるプレゼンテーションは、アイデア溢れる想いの詰ったものばかり。年齢も性別も、状況や抱いてきた想いも全く異なる一人一人が、それぞれの人生の新たな一歩を踏み出す瞬間に心が震えます。

応用クラス最終日に実施。当期にすべての課程を履修し終えなかった場合は、次期の卒業式で発表を行うことができます。



1. 保育（活動）までの流れ
2. 事業計画を立てる
3. 信頼を得るための小さな積み重ね

本日のゴール：事業計画を立てる・準備する

ビデオ受講

あっとほーむまで通うのが難しい方にも〈あっとほーむカレッジ〉を受講していただけるように、インターネットを介したビデオ受講システムをご用意しています。受講後には、〈あっとほーむカレッジ〉を卒業して近くの地域で開業している先輩起業家がアドバイザーとしてフォローアップを行い、プレゼンテーション作りをサポートします。分からないことや不安なことなども、安心して相談・解決できます。

近郊でも通うのが困難な方はビデオ受講をご利用いただけます。※応用クラスのみ。おうち保育園®協会会員の方は本動画を何度でも閲覧可能です。

福島県いわき市
正月町おうち保育園®

あっとほーむカレッジ第1期

おうち けいこ
大内 桂子さん



——あっとほーむカレッジを受講されたきっかけは？

「将来自宅で子育て支援の仕事ができればいいな」という漠然とした想いはあったんですけど、現実としてそういうことをやるのかと具体的に考えるとところまでは至っていなかったんですね。

そんな時、偶然テレビであっとほーむさんを見て、「自分が思い描いていたような子育て支援を実際にやっている方がいるんだ!」と。そこからあっとほーむカレッジに辿り着きました。

——受講を決断するまでに半年間悩まれたとのことですが？

悩んだのは、まず自分の年齢ですね。50代前半で新しいことを学んで始めるというのはどうなのかな?と。それから、震災後でまだ地域も家庭も落ち着かない中で、こういうものを受講してやり始めるってどうなのかな?という想いもあって。いますぐ始めないといけないという状況でもなかったんで、半年くらい悩みました。

——よくご決断されましたね。

10年間学童保育で働く中で、保育に対して不満というか理想と現実のギャップみたいなものを感じていたし、何よりも、これから長い人生の中で何歳になっても人の役に立てた方が嬉しいな、楽しいなという思いがあったので。

何か一步踏み出さないと現状は変わらないですよ。なので、まずは受講してみよう!と。受講してみても、自分のやりたいと思っていることが本当にできるのか確かめたいって思ったんです。

——ご主人がにこやかにサポートされているのがとても印象的です。

最終回のプレゼンテーションで、初めて家族の前で自分の想いを話したんです。その時は夫も、まだ今みたいに協力しようとは思っていなかったみたいで。当時、まだ保育士の資格を持っていなかったんですけど、夫は私の本気度をその資格を取るかどうかで測っていたみたいです(笑)。

その後、私が楽しそうにやっているのを見て、「できる範囲でサポートしよう」と



正月町おうち保育園®

<http://shogatu.com>

2016年5月開業。お迎え付き夕方保育、土日保育

「小さな幸せを日々感じられる喜びがあります」

夫が自然に協力してくれるようになりました。夫も自分の仕事がありますから、いい気持ちで助け合えればと思って、お互いに見える範囲で協力し合っています。

——おうち保育園®を始めてよかったと思うところは？

今の自分に見合った小さな幸せを日々感じられるところですね。あとは、地域のニーズを肌で感じながら、その中でこれから先どういったことができるかなと考える楽しみもできました。ただ年齢を重ねて体

力知力的に衰えていくのではなく、衰えていく中でも楽しく、少しでも人の役に立てることがある、できる!というのが見えてきて、わくわくしています。

今、心理学の勉強もしていますが、今度は子どもばかりじゃなくて自分の年代に近い人たちを含めた何かができたらいいなとか、少し先のプランを立てながらできるのが楽しいです。

大阪府高槻市
NPO法人
アフタースクールにじのいえ

あっとほーむカレッジ第5期

みやお ともみ
宮尾 智美さん



——あっとほーむカレッジを受講されたのはなぜですか？

社会教育団体で16年間総合職として勤務していたのですが、二度の育休と復帰を繰り返した後、このまま組織の中でずっと仕事をしていくのか、子育てと仕事、家族のこと、これからの自分の生き方など、とても悩んだ時期がありました。悩んだ末に、自分で学童保育室を立ち上げたいと思ったのですが、これまでの経験だけでなく、自分で事業をするということについてしっかりと準備がしたい、学びたいと思い受講することにしました。

——大阪から遠いんですね？ なぜあっとほーむカレッジを選ばれたんですか？

色々探しましたが、他の起業講座はどれも「子育て支援事業の起業」に特化してなくて。ただここは「子育て支援事業」をしたいと思っている人が学ぶ場だったんです。あとは、あっとほーむさんのブログを読んだ時に、私がやりたいのはこういう形だと確信して、ここで学べば自分

がやりたいと思っていることを形にできると思ったんです。たった一人で始めた事業を、十何年も続け、どんどん活動も大きくなっていったあっとほーむの小栗さんから学びたい、小栗さんから学べば間違いなしと思いました。

——二人のお子様を育てながら大丈夫でしたか？

にじのいえを開設した時に長女は小学1年生で、初めの頃は他の子に対してのやきもちがあったように思います。なので、

休日や業務が終わった後は、母と子の時間をゆったりとるようにしました。そうしていくうちに、子ども自身も私の仕事を理解し、『にじのいえをしている母親』を受け入れてくれるようになりました。今では「将来はにじのいえのスタッフになりたい!」と言ってくれるくらい、二人ともににじのいえが大好きです。

——にじのいえを始めてよかったと思うところは？

とにかく毎日楽しいと思えることです。



NPO法人アフタースクールにじのいえ

<http://nijino-ie.org>

2016年1月開業。お迎え付き学童保育
(高槻市承認民同学童保育室 第一号)

「今では娘がにじのいえの一番のファンです」

今は自分のやりたいことしかしていないのでほぼストレスがありませんし、組織勤めの時とは違い、自分で決めて実行できてすぐに結果が出るというプロセスの短さに醍醐味があります。

それに、自分のやっていることがダイレクトに感謝される、そしてそれを毎日感じられるって、これほど幸せなことはないですよ！こんなに笑顔でいられて、楽しい仕事はないと思っています。協力してくれる人も増えて、心からありがとうという気持ちです。にじのいえに繋がるすべての人が、楽しい、幸せという気持ちになるとい

いなと思っています。

——「何かしたい」と思っている人に
メッセージをお願いします。

一度きりの人生だから、後悔しないように生きることが大事なと思います。同じ後悔をするなら、やらない後悔よりやった後悔のほうがよいといつも思っています。自分がやりたいと思ったことはやってみる。考えることも大事ですが、動くことも大事だと思います。自分から動くことで、周りが変わっていきます。



カレッジ卒業後も安心 おうち保育園[®]協会のご紹介

いざ事業を始めてみると、思わぬトラブルが起こったり、
ちょっとした不安が湧いてきたり。
そんな時に相談できるところがある、仲間がいるって心強いもの。
ずっと近くで見てきたからこそその的確で親身なサポートを提供しています。



おうち保育園[®]協会は、〈あっとほーむカレッジ〉卒業後任意で加入することができます。起業した方、起業準備中の方、「今はまだだけれど、いつか起業する!」という方も協会に入り、同じ価値観を持ち社会問題を解決していく仲間として、お互いに刺激し合い、支え合う関係を作っ

ています。特に〈あっとほーむカレッジ〉卒業後は各地でそれぞれ活動していく中で孤独になりがちですが、協会の仲間とつながっていることで励まし合い、目標に向かって進んでいくことができます。また、協会では、会員同士の情報交換や交流会、勉強会を定期的に行い、開業前後の課

題解決のためのコンサルティングや広告宣伝支援を行うことで、スムーズな起業をサポートしており、はじめての方も安心なフォローアップ体制を整えています。



コンサルティング (個別相談)

現在、一般受け付けを行っていない小栗代表理事とマンツーマンでの対面個別相談やメールでの個別相談が会員特別価格で受けられます。開業準備や開業後の経営相談など、あらゆる内容についてご相談いただけます。ホームページやチラシを作成する際にアドバイスを受けることも可能です。また、会員であればいつでもあっとほーむカレッジ再受講や帳票類の閲覧・使用ができます。

対面個別相談は1回90分。必要に応じて、会員様施設への訪問も可能です。システム関連の相談は、事務局でも対応いたします。



協会会員同士の交流・情報交換、勉強会

SNSやオンラインで会員交流の場を設け、会員同士がいつでも相談・交流できる環境を整えています。また、スキルアップ、フォローアップのための勉強会や情報交換のできる交流会を定期的に開催しています。保育に関する最新の情報など、あっとほーむからの継続的な情報共有も受けられます。学んで終わりではなく、お互いに向上していくことで、いつまでも質の良い子育て支援を実現しています。

実施例：専門家による経営・起業に関する講演会、事業収益に関する勉強会・相談会、救命救急医による応急手当講座など。



広告宣伝支援

会員の活動は協会ホームページやSNSでの拡散、あっとほーむ活動報告書での掲載、メディア関係者への紹介など、各種広告宣伝支援を行っています。特に開業初期など、認知度や情報を広く届ける仕組みができていない場合に大変有効です。あっとほーむ主催のイベントなどで講師として登壇する機会を提供し、開業前に経験や実績を積んでいくこともできます。

おうち保育園協会Webサイトの会員一覧ページへの掲載、あっとほーむカレッジ卒業式イベントでの登壇など。

ここに来て、
楽しく遊ぶようになってから





ママの笑顔が増えた気がする！



自分らしく笑顔で生きる、それが誰かの役に立つ。



あっとほーむ

認定NPO法人あっとほーむ
www.npoathome.com